

第 4 期計画の新規事業について

本人ミーティングの実施報告【位置づけ】

2. プランの施策（事業）体系

プランの基本目標	施策（事業）
1. 認知症の正しい知識と理解を深めるための普及・啓発の推進	(1) 認知症サポーターの推進
	(2) 認知症キャラバン・メイトの推進
	(3) 認知症市民講座の開催
2. 認知症の人を含む誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進	(1) 認知症の人にやさしいお店の推進
	(2) 認知症高齢者等見守りネットワークの推進
	(3) 地域安心声かけ訓練の推進
	(4) 若年性認知症の人への支援
	(5) チームオレンジの推進
3. 認知症の予防等の取組	(1) 地域の通いの場の推進
	(2) 生活習慣病や糖尿病予防の啓発
	(3) 認知症簡易チェックシステムの啓発
	(4) フレイル予防の推進
	(5) 生涯スポーツ活動の推進
	(6) 生涯学習活動の推進
4. 医療・介護等の支援体制づくりの推進	(1) かかりつけ医の周知
	(2) 地域包括支援センターの周知
	(3) 認知症初期集中支援チームの推進
	(4) 在宅医療・介護連携の推進
	(5) ケアマネジメントの向上
	(6) 認知症高齢者への支給限度額上乘せサービスの実施
5. 認知症の人およびその家族への支援	(1) 認知症なんでも相談所の周知
	(2) 認知症カフェ等の推進
	(3) 家族介護教室の開催
	(4) 認知症高齢者等探索システム等の啓発
	(5) 認知症高齢者等個人賠償責任保険の啓発
	(6) 成年後見制度の利用促進および支援
	(7) 高齢者虐待の防止
	(8) 本人ミーティングの推進

5 - (8) 本人ミーティングの推進

担当課：長寿いきがい課

目的	本人の声から始めることで、すべての取組を本人がよりよく暮らせることにつながるのと同時に、本人同士のつながりを深める契機とします。
内容	関係機関等と連携して、認知症の本人同士が気軽に語り合える機会の創出を図ります。

■ ■ 本人ミーティング ■ ■

本人ミーティングは、認知症本人が自ら参加することで、本人同士が出会い、つながるとともに、自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らしや地域のあり方を一緒に話し合う場です。

草津市認知症施策アクション・プラン
第4期計画の新規事業です



本人ミーティングの実施報告【概要】

○第1回本人ミーティング

- ・日時:令和6年11月15日(金)13時30分から15時00分
 - ・場所:玉川まちづくりセンター 和室
 - ・参加者:本人5人、家族6人
 - ・主催者:株式会社うさぎメディケア(うさぎナースケア南草津)
※令和6年度に新規に立ち上げられた認知症カフェ「うさぎふらっとカフェ」を「本人ミーティング」と位置付けている
 - ・当日の内容
- ①栄養士の講義「ご飯何食べたらいいのかな」【20分】
 - ②ご本人とご家族に分かれて本人ミーティング開始【60分】

○実施までの経過

- ・7月25日(木)打ち合わせ(企画の趣旨・会場について)
- ・9月12日(木)打ち合わせ(当日の進め方・周知について)
- ・11月1日(金)広報くさつ11月号掲載
- ・11月7日(木)打ち合わせ(当日の流れ・参加者について)

○工夫した点

- ・ご家族の困りごととして多い「食事」をテーマにした
- ・本人にカフェの運営に関わっていただいた



わいわい楽しく話ませんか？

医療や介護の
専門家がいる

交流できる

悩みや愚痴を
話せる

11月15日
(金)
13:30～
15:00

うさぎ
ふらっとカフェ 

今回のテーマ「ご飯何食べたらいいのかな」
栄養士さんから健康的で簡単なメニューを教えてください

場所
玉川まちづくりセンター

参加費 無料

対象
認知症の方
その家族の方
物忘れが不安な方

飛び入り参加も
大歓迎！

お問い合わせ・申込は
うさぎナースケア南草津
谷口まで
☎080-3271-7374

「草津市認知症施策アクション・プラン」の関連事業です

本人ミーティングの実施報告【ご本人・ご家族の声】

前に参加したところでは全然話
せなかったから不安。



Aさん（本人）



他の会では話せなかったが、
今日はたくさん話せた。



Aさん（本人）

話すことが好きではない。



Bさん（本人）



この会にはまた来たい。



Bさん（本人）



Cさん（家族）

本人のこだわりが強く、対応す
るのが大変。



Dさん（家族）

十分頑張っているよ！



Cさん（家族）

Dさんから「十分頑張っているよ」
と言われてうれしかった。

本人ミーティングの実施報告【次回に向けて】

	課題	取り組むこと
本人ブース	・本人とスタッフの1対1で話しており、本人どうして会話することがなかったため、本人どうしの交流につながらなかった 	・本人同士が話しやすいような雰囲気につながるようにファシリテーター（進行役）を置く ・本人と本人の話の橋渡しができるようなスタッフを配置する 
部屋	・1つの部屋の中で本人も家族も話しており、本人と家族の声が混じり合って、聞き取りにくいことがあった 	・本人と家族の部屋を分ける  本人  家族
チラシ	・どのような人が参加して、どのような話ができる（聞ける）のか、イメージしにくい	・主催者の思いを記載する ・第1回目で出た本人や家族の声を掲載する

チームオレンジの展開【位置づけ】

2. プランの施策（事業）体系

プランの基本目標	施策（事業）
1. 認知症の正しい知識と理解を深めるための普及・啓発の推進	(1) 認知症サポーターの推進 (2) 認知症キャラバン・メイトの推進 (3) 認知症市民講座の開催
2. 認知症の人を含む誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進	(1) 認知症の人にやさしいお店の推進 (2) 認知症高齢者等見守りネットワークの推進 (3) 地域安心声かけ訓練の推進 (4) 若年性認知症の人への支援 (5) チームオレンジの推進
3. 認知症の予防等の取組	(1) 地域の通いの場の推進 (2) 生活習慣病や糖尿病予防の啓発 (3) 認知症簡易チェックシステムの啓発 (4) フレイル予防の推進 (5) 生涯スポーツ活動の推進 (6) 生涯学習活動の推進
4. 医療・介護等の支援体制づくりの推進	(1) かかりつけ医の周知 (2) 地域包括支援センターの周知 (3) 認知症初期集中支援チームの推進 (4) 在宅医療・介護連携の推進 (5) ケアマネジメントの向上 (6) 認知症高齢者への支給限度額上乗せサービスの実施
5. 認知症の人およびその家族への支援	(1) 認知症なんでも相談所の周知 (2) 認知症カフェ等の推進 (3) 家族介護教室の開催 (4) 認知症高齢者等探索システム等の啓発 (5) 認知症高齢者等個人賠償責任保険の啓発 (6) 成年後見制度の利用促進および支援 (7) 高齢者虐待の防止 (8) 本人ミーティングの推進

2-（5）チームオレンジの推進

担当課：長寿いきがい課

目 的	認知症の人の悩みや家族の身近な生活支援ニーズ等と認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐ仕組みづくりを通じて、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指します。
内 容	関係者や関係団体と一緒に、本市におけるチームオレンジのあり方を検討し、活動の具体化を図ります。

■■チームオレンジ■■

認知症サポーター等が支援チームを作り、認知症の人やその家族のニーズに応じて具体的な支援につなげる仕組みを地域ごとに構築するものです。

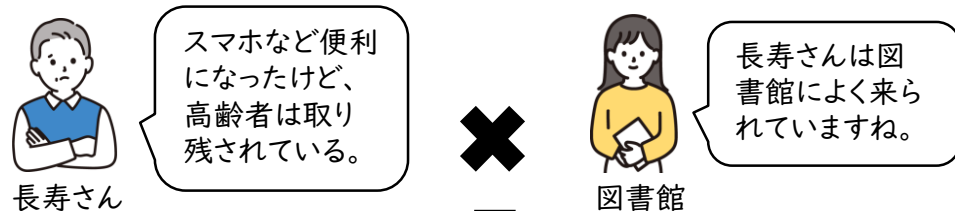
また、チームオレンジは、認知症本人とともに、地域の社会資源を活かしたインフォーマルな支え合いの仕組みづくりを行う一つの手段であることから、地域の本人や家族のニーズ、社会資源の状況に応じて、多様な形が考えられます。

草津市認知症施策アクション・プラン
第4期計画の新規事業です



チームオレンジの展開（案）

	どんな人？	何をする？
 ご本人 (長寿さん)	・図書館によく行く ・道に迷ったことがある ・スマホが苦手	・スマホ講座の内容を考える ・図書館に行く
 リーダー	・妻を介護している ・ご近所さん	・長寿さんと一緒に図書館に行く ・スマホ講座の内容を考える
 コーディネーター	・市役所の職員 ・認知症施策の担当者	・関係者との調整を行う ・認知症サポーター養成講座を企画する
 メンバー	・長寿さんのよく行く図書館の職員 ・長寿さんと顔見知り	・認知症サポーター養成講座を受ける ・長寿さんを見守る
 メンバー	・スマホ会社の社員	・認知症サポーター養成講座を受ける ・スマホ講座を企画する

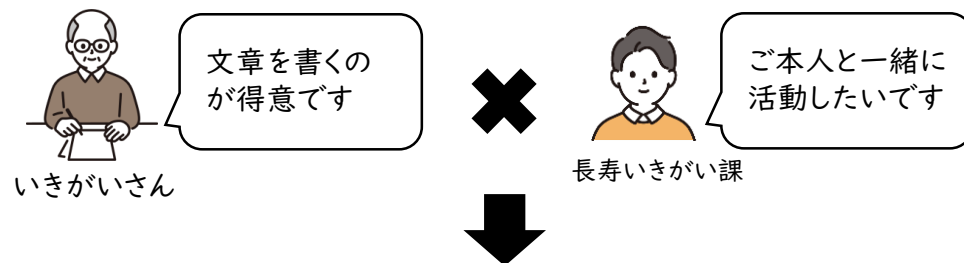


図書館のスマホ講座を企画する「チーム長寿」

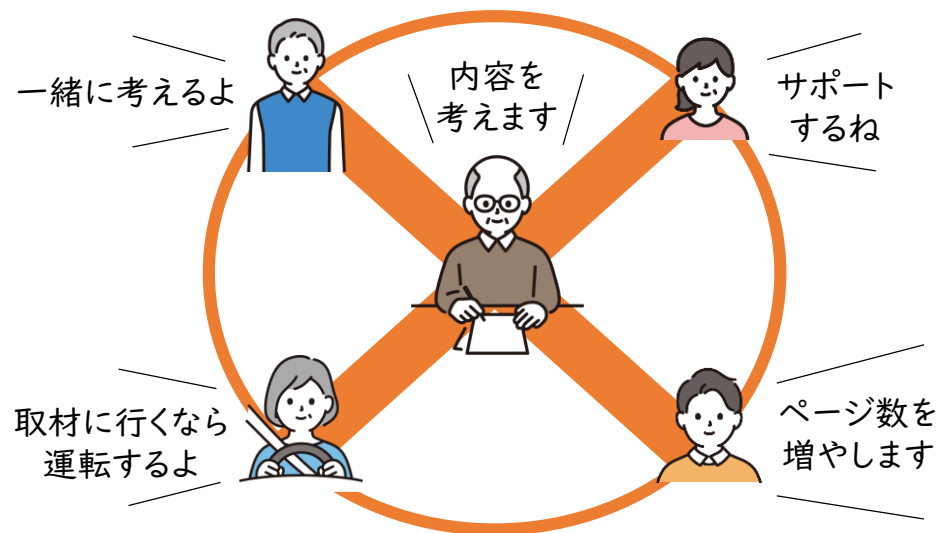


チームオレンジの展開（案）

	どんな人？	何をする？
 ご本人 (いきがいさん)	・文章を書くのが得意 ・予定を忘れることがある	・「広報くさつ」の特集記事を考える
 リーダー	・いきがいさんの住む地域を担当する民生委員	・いきがいさんを見守る ・一緒に考えるメンバーを集める
 コーディネーター	・市役所の職員 ・認知症施策の担当者	・関係機関や地域の様々な人との連携を行う ・集まる場所を確保する
 メンバー (長寿さん)	・いきがいさんと一緒に本人ミーティングに参加している人	・内容を一緒に考える
 メンバー	・いきがいさんのお友達	・ご本人の苦手なことをサポートする ・内容を一緒に考える



「広報くさつ」の特集記事を考える「チームいきがい」



今後の展開

目的

認知症の人もその家族も安心して生活できるまち

認知症の正しい知識と理解を深めるための普及・啓発の推進

認知症人を含む誰もが安心して暮らせる地域づくりの推進

目標

認知症の予防等の取組

医療・介護等の支援体制づくりの推進

認知症の人およびその家族への支援

施策

認知症サポーターの推進

チームオレンジの推進

地域の通いの場の推進

認知症初期集中支援チームの推進



本人ミーティングの推進

認知症の人もその家族も安心して生活できるまちの実現に向けて、ご本人やご家族を中心とした取組になるよう、「本人ミーティング」や「チームオレンジ」などの各種施策を推進していきたいと考えております。

